

人材育成	集落コミュ	特産品の活用	鳥獣被害防止	バイオマス	都市農山交流	地産地消	農商工連携	企業参入
	○				○			

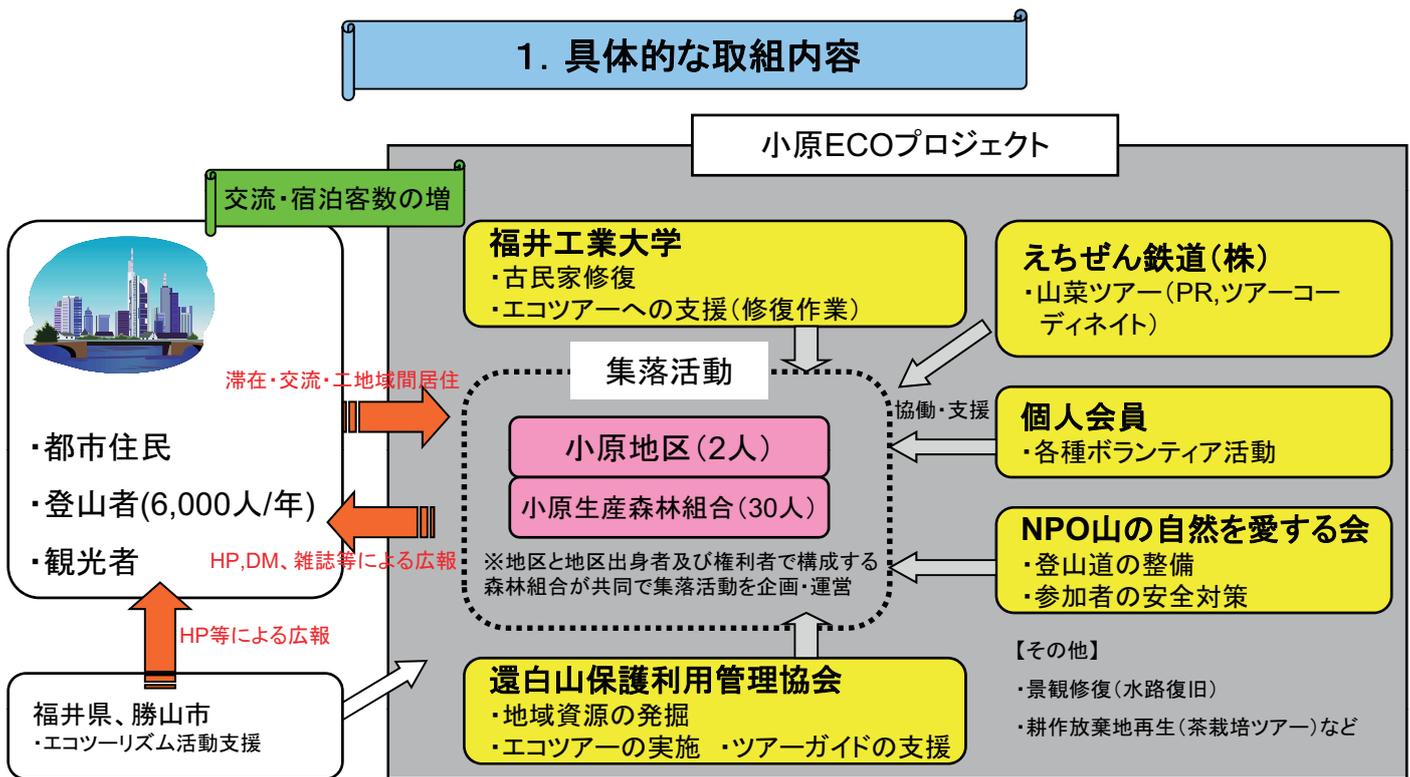
名称	小原ECOプロジェクト
所在地	福井県勝山市北谷町小原集落地内
連絡先	E-mail ohara-eco@nifty.ne.jp 小原生産森林組合 代表理事組合長 國吉一實

「再生古民家を拠点としたエコツーリズムによる地域再生」

白山の豪雪地帯に囲まれ、かつては森での仕事や炭焼きなどが盛んに行われていた福井県勝山市小原地区。現在、人の住んでいる民家は2戸と廃村の危機に迫られています。

この状況を何とかしようと立ち上がったのが小原ECOプロジェクトであり、無人の古民家の再生や地域資源を利用した体験ツアーなどのプロジェクトを組み、観光振興、地域振興、環境・資源保全をコンセプトに地域再生に取り組んでいます。

1. 具体的な取組内容



2. 導入事業や活用した地域資源

導入事業	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(古民家再生の交流施設整備)、 エコ・グリーンツーリズム強化推進事業(福井県)
活用している地域資源	・白山麓に共通する地域文化(古民家(大壁造)、民具、生活様式など) ・越前禅定道、大長山、赤兎山、集落景観 ・自然環境(動植物、ブナ林、清流、鉱山跡、化石、林産資源など)

3. 活動のきっかけ、実績・成果

○活動のきっかけ

小原地区は、明治24年には93戸の家屋(535人が居住)が存在していましたが、山間の豪雪地帯のため近年急速に過疎化が進み、現在は31戸の家屋が残り、現住は2戸のみでその他は空き家状態となっており、集落の崩壊、森林経営の崩壊、しいては廃村の危機に瀕しています。

古民家を修復し、農家民宿として活用し、山村生活体験の拠点として都市住民との交流の促進による地域の活性化を図り、小原地区の文化・生活を後生に伝え、自然資源を的確なルールの下に保護・利用し未来へ財産として残すことを目的に、小原ECOプロジェクトを設立しました。

○活動の実績・成果

平成18年から地元大学との連携や農林水産省の交付金等を活用し、古民家再生や山村景観の復活を目指しており、小原地区を含む北谷町一帯での歴史遺産や産業遺産、恐竜化石といった自然遺産とリンクさせながら、農家民宿を核とした農林業体験、自然体験、歴史文化体験等の拠点として、年間400人の交流人口の増加を目指しています。

具体的には、①林業体験と森の体験、②古民家修復・地域景観づくりと炭焼き体験、③豪雪体験、④山菜ツアー、⑤ミチノク福寿草保全活動などの周年を通じた体験プログラムを実施しており、今後も古民家の修復を継続しつつ、地域資源を活用した多様なプログラム開発によるエコツーリズム活動を進めることとしています。



小原集落風景(上段中央の家屋は福井工業大学により修復された民家)



体験ツアー状況(森の体験)



お茶炒り体験



古民家修復済み家屋



古民家修復済み家屋(居間)



古民家修復済み家屋(トイレ等水回り)

4. 取り組む上で苦労した点、よかった点

ECOプロジェクトを設立する以前に、地域資源の発掘・評価をこまめに行い、地域として取り組む目標を明確にしたことが、連携先へのアプローチを円滑にさせ、徐々に支援団体が集まるきっかけとなりました。今後、小原ECOプロジェクトは、法人化を目指しています。